

牛呼吸器病症候群（BRDC）について

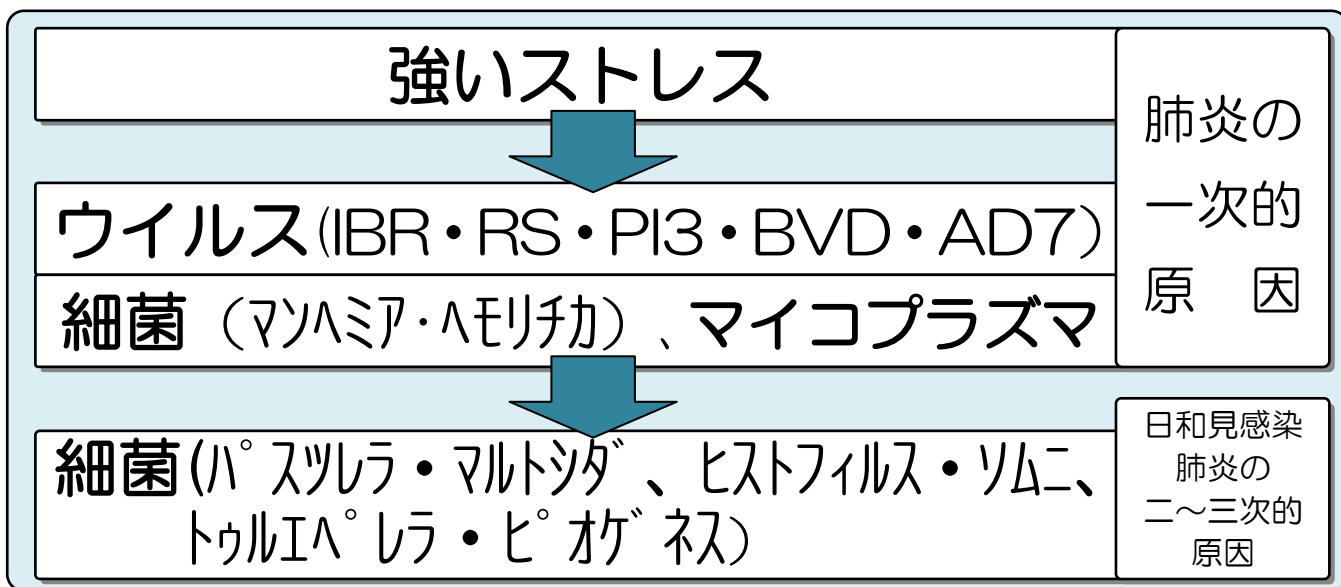
中丹家畜衛生情報（No.29-4） 平成29年5月発行

管内で牛呼吸器病症候群が発生しています。

BRDCは寒暖の変化のほか、離乳や移動、群編成、過密や換気不足等の強いストレスがかかるとウイルスやマイコプラズマ、細菌などの複合感染により、肺炎症状が重篤化する呼吸器疾患です。



牛呼吸器病症候群の発生と進行



対策

人・車両対策

出入り口でウイルスを遮断しましょう！
入退場時の車両消毒の徹底！
農場専用の作業靴、作業着の着用
牛舎出入時の手指の洗浄・長靴の消毒！



隔離観察とワクチン接種

牛を導入した場合は、3週間以上隔離・観察してください。
予防・症状軽減のため、牛呼吸器関連ウイルス混合ワクチンの接種も有効です。